令和３年度第１回印西市文化財審議会会議録

**１．開催日時**　令和３年７月２１日（水）午後２時～午後３時１０分

**２．開催場所**　印西市役所 ４１会議室

**３．出席者**　一島委員、岡崎委員、滋賀委員、横山委員、酒井委員、西山委員、石井委員

**４．欠席者**　髙橋委員、富田委員

**５．傍聴者**　０名（定員５名）

**６．事務局**　生涯学習課　鈴木課長、石川、根本

**７．会議内容**（すべて公開）

　　　１．開会

　　　２．委嘱書交付

　　　３．教育長あいさつ

　　　４．委員自己紹介、職員紹介

　　　５．議題

　　　　　（１）会長及び副会長の選出について

　　　　　（２）令和３年度事業計画について

　　　　　（３）その他

　　　６．その他

　　　７．閉会

**８．会議録**

１．開会、２．委嘱書交付、３．教育長あいさつ、４．委員自己紹介、職員紹介

５．議事

1. 会長及び副会長の選出について

委員互選により、会長に一島正真委員、副会長に滋賀秀實委員を選出した。

1. 令和３年度事業計画について

≪事務局説明≫

資料をもとに令和３年度事業計画を説明

≪委員意見≫

会長：コロナウイルスの感染拡大のために、中止の事業が多かったが、１日も早い収束を願う。こういった長い間の伝統芸能といったものは、より一層努力をしなければならない点があると思う。

委員：そうふけふれあいの里が修理のため休館になるとのことだが、展示室を修理するのか。

⇒展示室の修理ではなく、建物の大規模改修のため、その間、展示室を閉めるということである。展示室の民俗資料については、木下交流の杜歴史資料センターに移管済みである。

委員：木下貝層の説明板について、訂正をお願いしたい箇所がある。

⇒事業者に確認する。

委員：中根の神楽については、現在実施が未定となっているがどうであるか。

⇒地域の方や、神事に関わる人たちはやりたいと考えているが、地域の状況を考えながら、ギリギリまで様子を見ることとする。

委員：印西市の獅子舞や神楽など、共通したものを持つものが多くみられる。和泉の獅子舞は「いなざき」といって豊作を感謝するのですが、お寺から出発するときに、そこで念仏衆が念仏で送り出し、道中笛や太鼓をしながら鳥見神社に行き、それから獅子舞を舞うという形式が昔から今でも変わらずに行われている。

委員：神仏習合の形がよく残っており、非常に貴重なものだと思う。

八幡神社や平岡の獅子舞は雨乞いに近いものであり、いなざきや別所の獅子舞は収穫の感謝の舞の性格がある。

会長：他に意見がなければ、令和３年度事業計画について承認いただく方は挙手をお願いしたい。

全員挙手　　令和３年度事業計画承認

1. その他

特になし

６．その他

（１）印旛歴史民俗資料館講座「獅子舞点描―印西地域とその周辺―」

（２）木下貝層説明板の修繕について

（３）貝化石資料の整理作業について

（４）印西市ゆかりの芸術家について

７．閉会

会議資料

会議次第、印西市文化財審議会委員名簿、令和３年度事業計画資料

　令和３年度第１回印西市文化財審議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

　　　令和３年８月１３日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印西市文化財審議会委員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　岡崎　浩子